

## 第17回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年3月14日（水） 14：00－15：30
2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
松井座長、薬師寺座長代理、小野田委員、倉本委員、藤井委員、山崎委員
  - (2) 有識者  
並木大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台教授
  - (3) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）  
高田事務局長、行松審議官、須藤参事官、高倉参事官、山口参事官、  
滝澤参事官
  - (4) 関係省庁等  
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 谷課長  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所  
常田所長
4. 議事要旨
  - (1) 宇宙科学・探査小委員会の当面の進め方について  
事務局から資料1、参考資料1-1～1-2に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。  
○6月頃の改訂に向けた中間とりまとめは、平成31年度に係ることを議論するのか、平成37年度までのことを議論するのかとの質問があり、平成31年度について議論することとなった。
  - (2) JAXAにおける宇宙科学の進捗状況について  
JAXAから資料2に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。  
○テニユア・トラックと定員の関係についての質問があり、現時点では10年を見越して定年退職等で計算している旨の説明があった。  
○網羅的な説明では予算の必要性について理解が得られない、予算が各年度で大きく変動するのは望ましくなく平滑化が必要、といった意見があった。
  - (3) ISEF2の開催結果について  
文部科学省から資料3-1、事務局から資料3-2に基づき説明が行われた。説明の後、次のような議論が行われた。  
○先進国と途上国の参画状況についての質問があり、熱心な国もあり、主導的な地位の参加があった旨の説明があった。  
○中国の状況についての質問があり、「大人の反応」をしており、協調の立場をとっていた旨の説明があった。

以上